

2026年3月期 第1四半期 決算説明資料



クオールホールディングス株式会社

2025年8月8日

東証プライム：証券コード 3034

The Prime Market of the Tokyo Stock Exchange
3034



増収増益を達成

1Qでは過去最高の売上・利益

連結業績

- ・ 2026年3月期第1四半期より第一三共エスファ株式保有割合が増加(51%→80%)
- ・ 堅調な調剤売上や前期発売したAG製品が寄与し、売上高及び各段階利益で過去最高

薬局事業

- ・ 増収増益
- ・ 医療DX推進体制整備加算の取得が進んだことや、後発医薬品の使用割合が増加したことにより、技術料単価が上昇

BPO事業

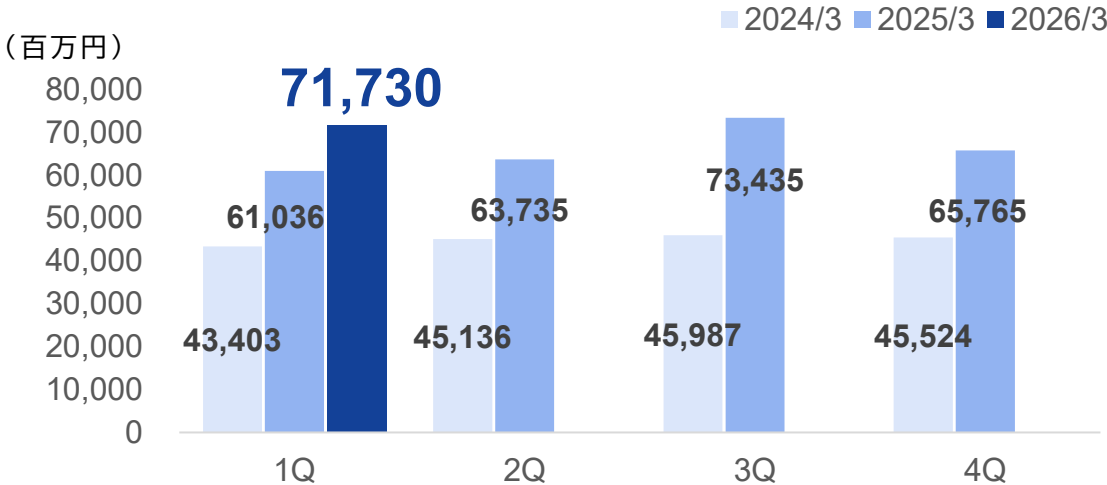
- ・ 増収減益
- ・ 紹介派遣事業において、成約件数が増加した一方で、人件費・広告宣伝費等コストが増加

製薬事業

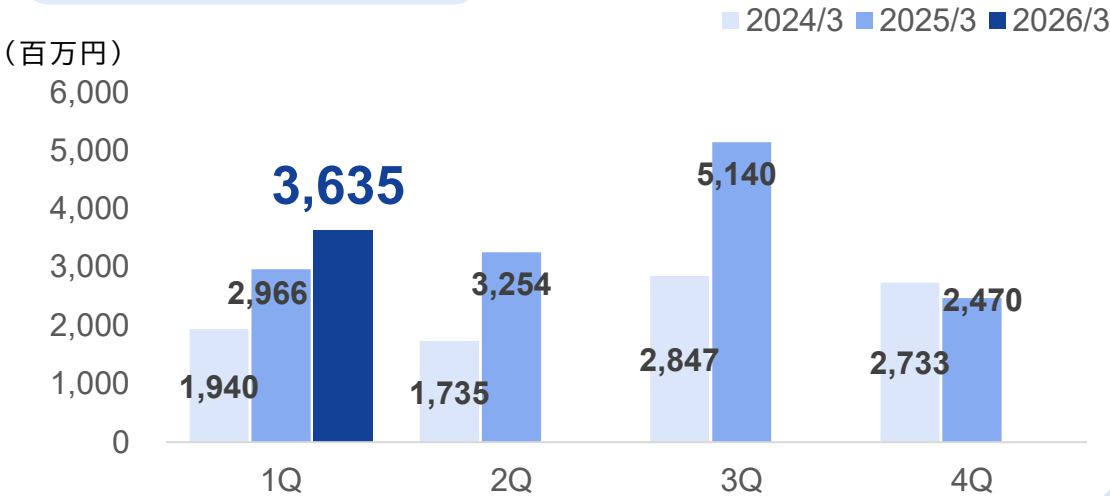
- ・ 増収増益
- ・ 第一三共エスファにおいて前期に発売した新製品が寄与

(単位:百万円)	2024年3月期 第1四半期 実績	2025年3月期 第1四半期 実績	2026年3月期 第1四半期 実績	増減額	増減率(%)
売上高	43,403	61,036	71,730	10,693	17.5%
営業利益	1,873	2,915	3,592	676	23.2%
経常利益	1,940	2,966	3,635	668	22.6%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	1,010	843	1,856	1,013	120.2%
1株当たり 四半期純利益(円)	27.22	22.59	49.43	26.84	118.8%

売上高四半期推移



経常利益四半期推移

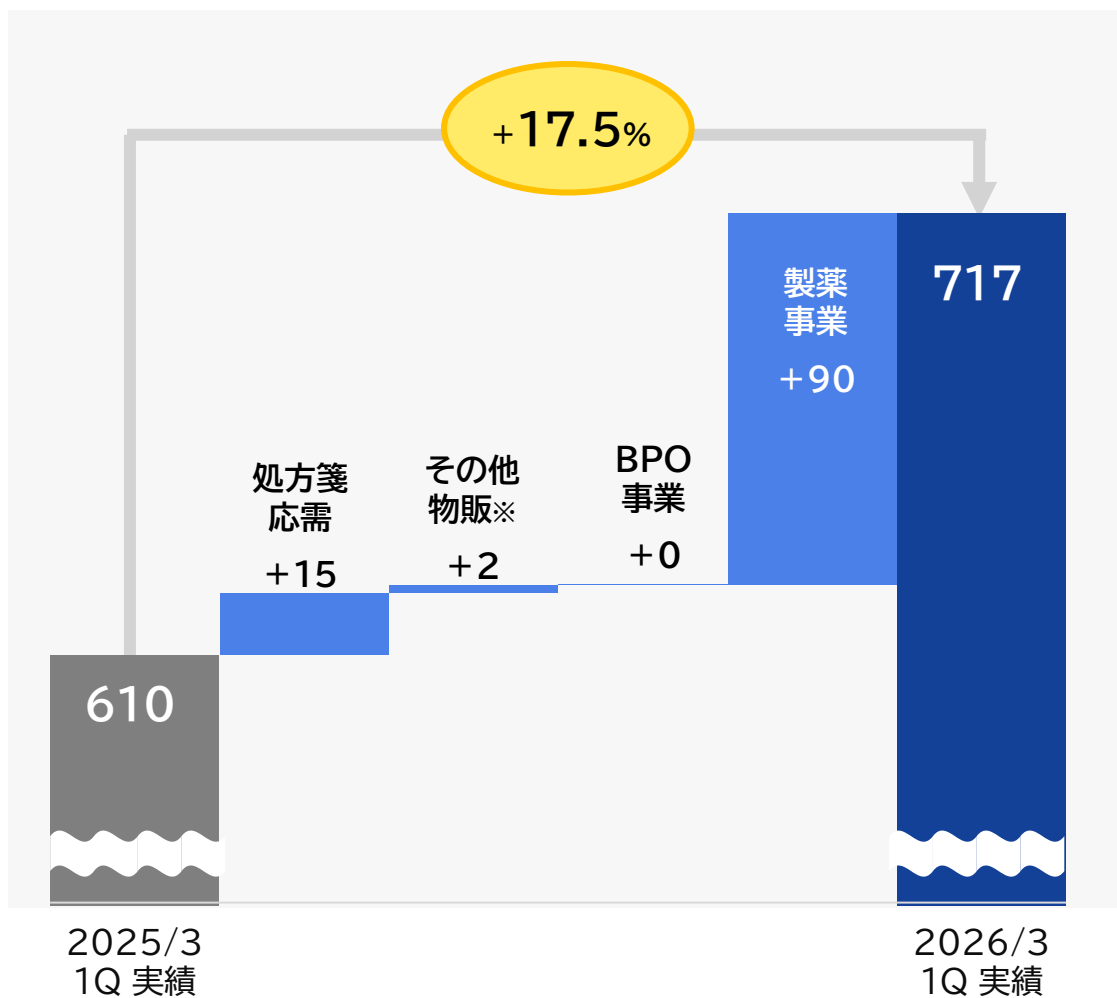


(単位:百万円)

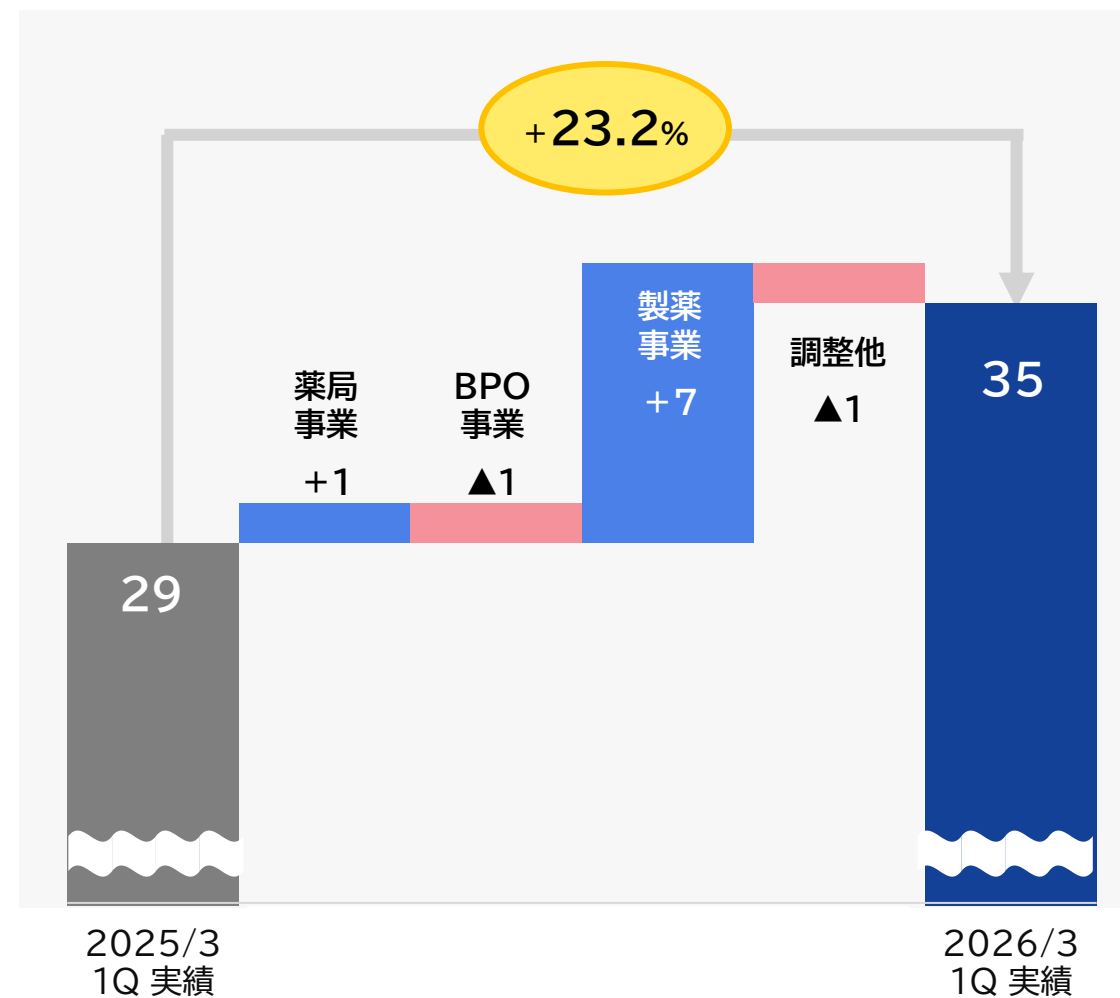
	2026年3月期 第1四半期 実績	2026年3月期 第2四半期(累計) 計画	進捗率	2026年3月期 通期計画	進捗率
売上高	71,730	136,500	52.5%	280,000	25.6%
営業利益	3,592	7,500	47.9%	15,500	23.2%
経常利益	3,635	7,600	47.8%	15,600	23.3%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	1,856	3,600	51.6%	7,000	26.5%
1株当たり 四半期純利益(円)	49.43	95.84	51.6%	186.35	26.5%

前年同期比増減要因

売上高 (億円)



営業利益 (億円)



連結損益計算書



(単位：百万円)

	2025年3月期 第1四半期 実績	2026年3月期 第1四半期 実績	増減	増減率(%)
売上高	61,036	71,730	10,693	17.5%
売上原価	51,886	61,344	9,457	18.2%
売上総利益	9,149	10,386	1,236	13.5%
販管費	6,234	6,793	559	9.0%
営業利益	2,915	3,592	676	23.2%
利益率	4.8%	5.0%	—	—
経常利益	2,966	3,635	668	22.6%
利益率	4.9%	5.1%	—	—
親会社株主に帰属する 四半期純利益	843	1,856	1,013	120.2%
利益率	1.4%	2.6%	—	—

連結貸借対照表



(単位: 百万円)	2025.3.31	2025.6.30	増減
流動資産	60,348	60,709	361
現金及び預金	26,727	20,246	△6,481
固定資産	99,321	96,768	△2,552
有形固定資産	18,141	17,969	△171
無形固定資産	70,338	68,690	△1,648
投資その他の資産	10,841	10,108	△732
資産合計	159,669	157,478	△2,190
流動負債	74,202	81,623	7,421
固定負債	23,328	21,338	△1,989
負債合計	97,531	102,962	5,431
有利子負債	41,285	41,160	△125
純資産	62,138	54,515	△7,622
自己資本	57,123	53,068	△4,054
負債純資産合計	159,669	157,478	△2,190

(単位: 百万円)

流動資産 + 361

現金及び預金 △6,481

受取手形、売掛金及び契約資産 + 5,429

商品及び製品 + 1,748

固定資産 △2,552

営業権 △814

のれん △1,058

繰延税金資産 △646

流動負債 + 7,421

買掛金 + 8,459

短期借入金 + 2,100

未払法人税等 △2,131

固定負債 △1,989

長期借入金 △2,055

純資産 △7,622

資本剰余金 △5,331

非支配株主持分 △3,567

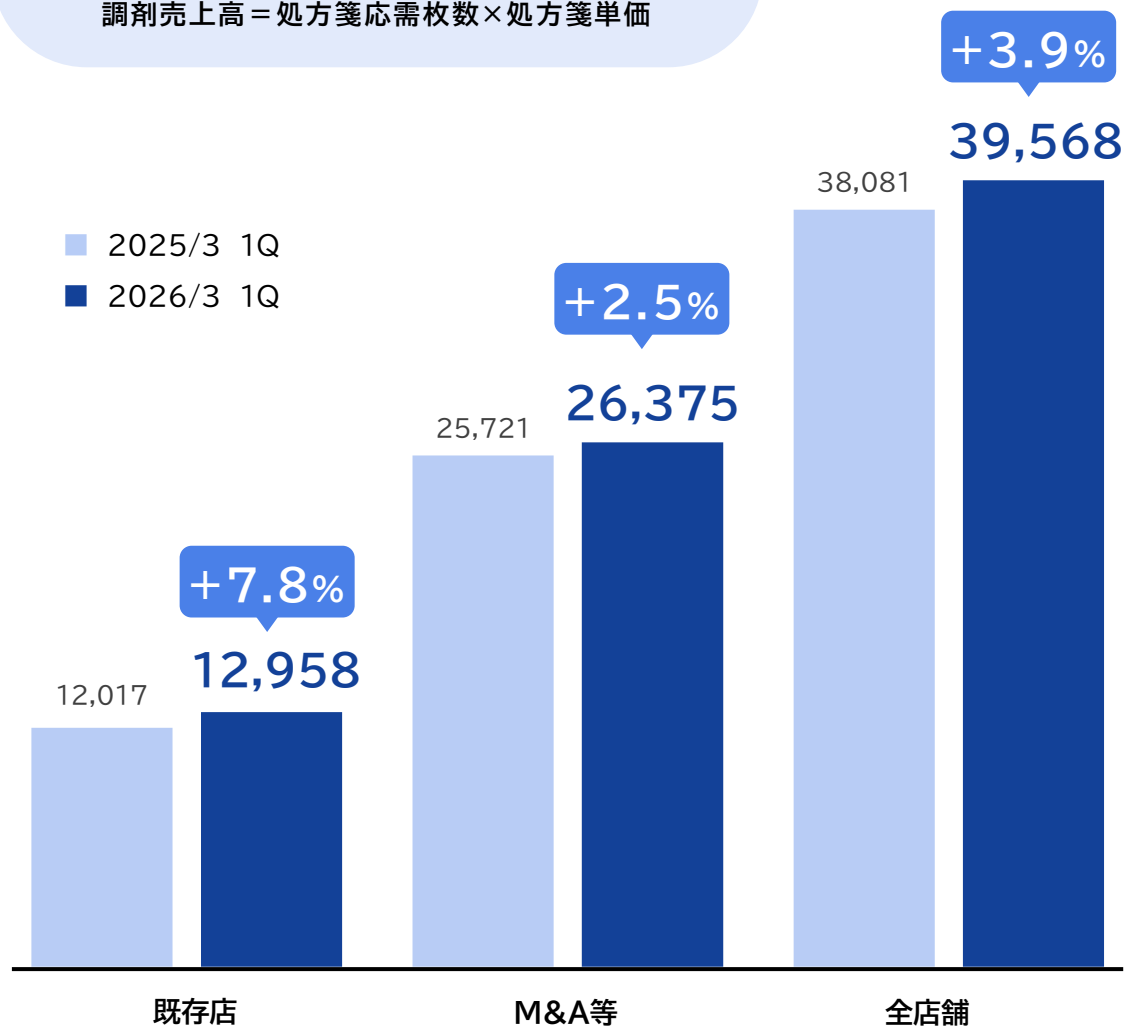
(単位: 百万円)	2025年3月期 第1四半期 実績	2026年3月期 第1四半期 実績	前年同期比 増減率
薬局事業売上高	41,081	42,840	4.3%
セグメント利益	1,630	1,751	7.4%
利益率(%)	4.0%	4.1%	
BPO事業売上高	3,464	3,483	0.5%
セグメント利益	575	493	△14.2%
利益率(%)	16.6%	14.2%	
製薬事業売上高	16,490	25,407	54.1%
セグメント利益	1,605	2,315	44.3%
利益率(%)	9.7%	9.1%	

- ・増収増益
- ・医療DX推進体制整備加算の取得が進んだことや、後発医薬品の使用割合が増加したことにより、技術料単価が上昇

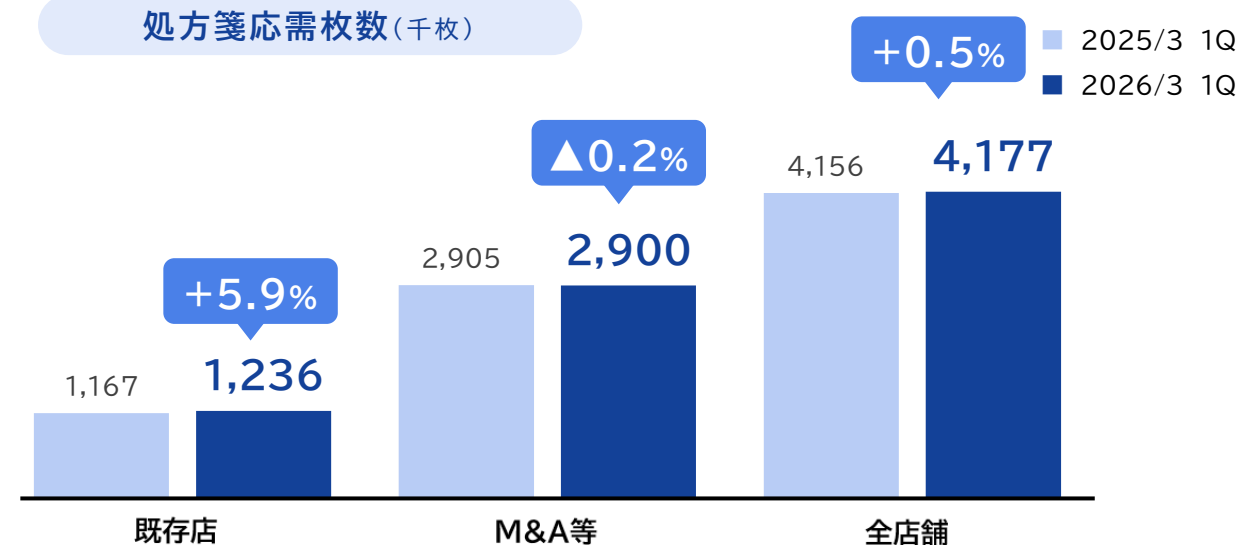
(単位:百万円)	2025年3月期 第1四半期 実績	2026年3月期 第1四半期 実績	増減率(%)
売上高	41,081	42,840	4.3%
費用	39,479	41,118	4.2%
セグメント利益	1,630	1,751	7.4%
主な増減要因	●薬価改定(4月) ●調剤報酬改定 ・6月実施(従来は4月) ・主な変更点 ①調剤基本料の見直し ②医療DX加算の新設 ●選定療養制度開始(10月) ・GE医薬品使用促進	●薬価改定(4月)	—

調剤売上高(百万円)

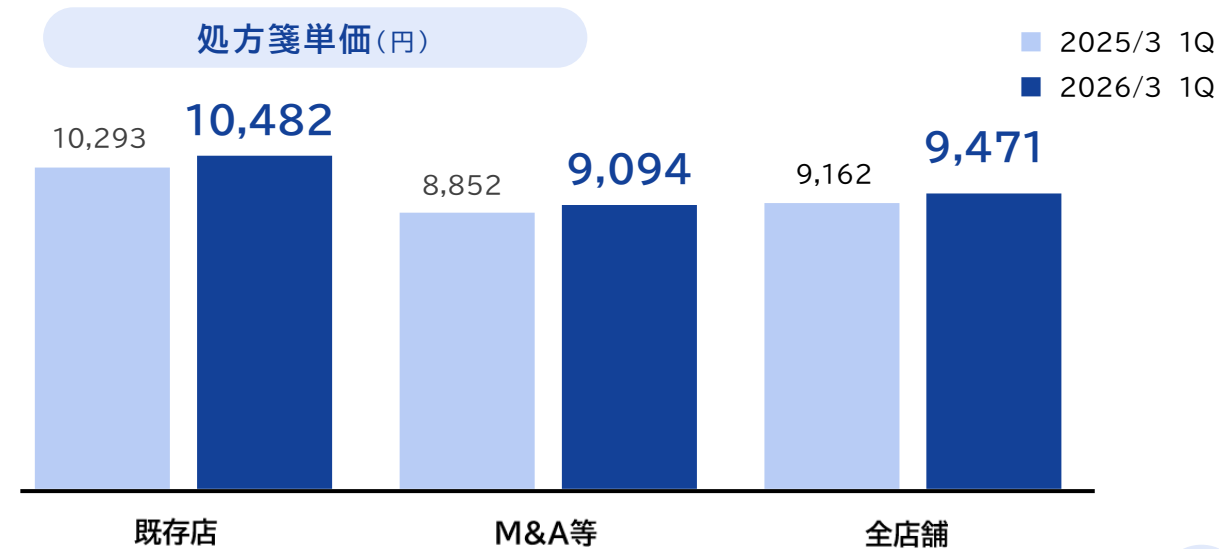
調剤売上高 = 処方箋応需枚数 × 処方箋単価



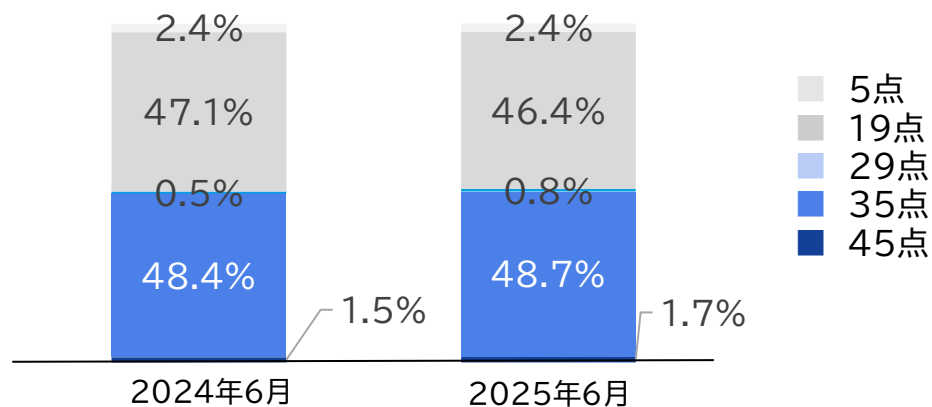
処方箋応需枚数(千枚)



処方箋単価(円)



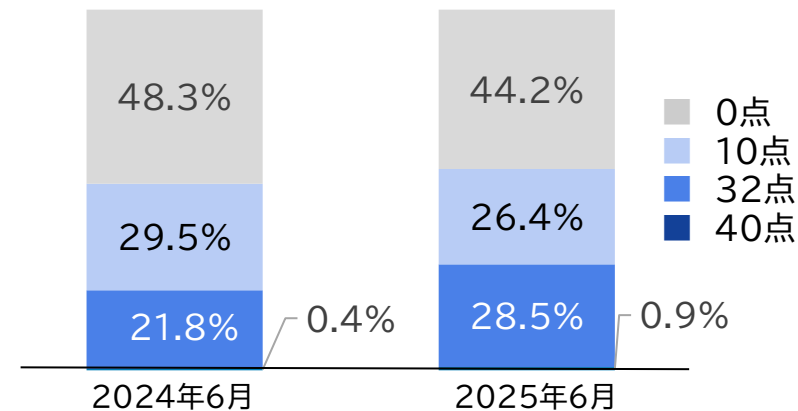
調剤基本料 店舗割合



薬局数 > 919 916

地域支援体制加算 店舗割合

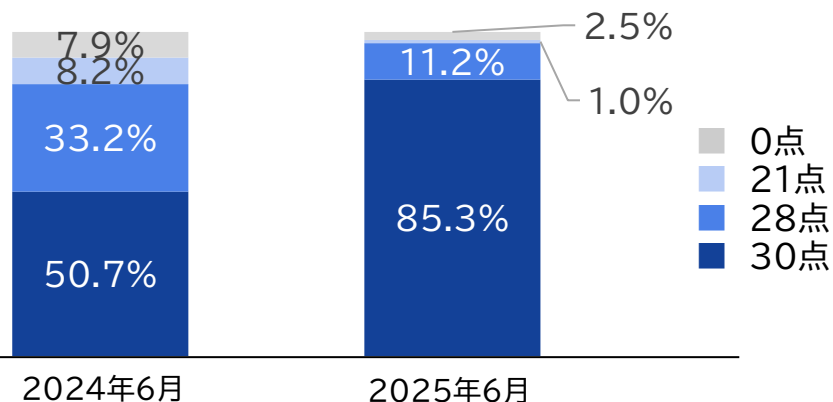
(連結ベース)



薬局数 > 919 916

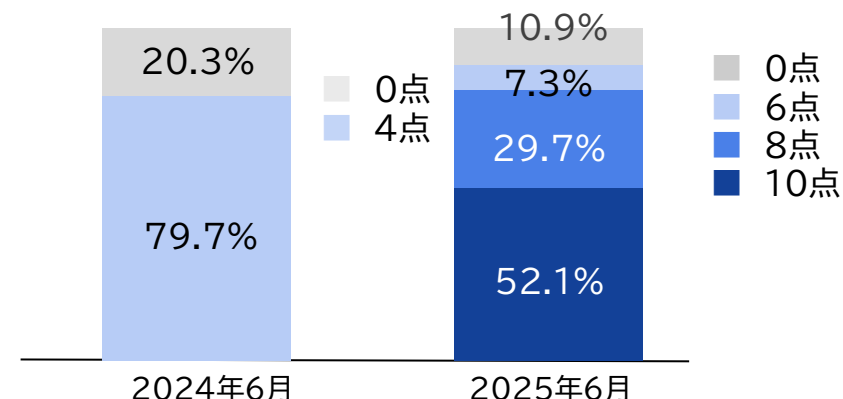
GE医薬品調剤体制加算 店舗割合

GE変更率
(数量ベース)
91.9%
(2025年6月)



薬局数 > 919 916

医療DX推進体制整備加算 店舗割合



薬局数 > 919 916

コンビニ内ブースから薬剤師にアクセスできる新たなサービスを展開

『次世代リモート接客プラットフォーム』への参画

異業種との協業により、患者さまにとってさらに便利で身近な薬局へ

コンビニ店舗

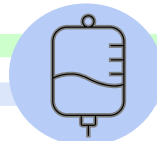


Pontaよろず相談所

ブース内端末から
プラットフォームに
アクセス



医療用医薬品
(処方箋応需/服薬指導)



将来的には、OTC医薬品販売での
活用の可能性も視野
(規制緩和により、オンラインを活用した販売が可能に※)



クオール

薬剤師がオンライン対応
人的リソースを効率的に配分



医療アクセスの向上

顧客体験の向上

医療資源偏在の解決

高齢者へのサポート

- ・増収減益
- ・紹介派遣事業において、成約件数が増加した一方で、人件費・広告宣伝費等コストが増加

(単位:百万円)

	2025年3月期 第1四半期 実績	2026年3月期 第1四半期 実績	増減率(%)
売上高	3,464	3,483	0.5%
費用	3,216	3,303	2.7%
セグメント利益	575	493	△14.2%



- ・増収増益
- ・第一三共エスファにおいて前期に発売した新製品が寄与

(単位:百万円)	2025年3月期 第1四半期 実績	2026年3月期 第1四半期 実績	増減率(%)
売上高	16,490	25,407	54.1%
費用	14,885	23,091	55.1%
セグメント利益	1,605	2,315	44.3%
主な増減要因	●薬価改定(4月) ●第一三共エスファ株式保有割合増加(4月、30%→51%) ●新製品発売数(通期):4成分 (GE:1成分、2024年6月発売 AG:3成分、2025年12月発売)	●薬価改定(4月) ●第一三共エスファ株式保有割合増加(4月、51%→80%)	—



第一三共エスファ株式会社

2025年4月に株式追加取得し、今期から保有割合は **80%**へ

	株式取得日	株式保有割合	会計上の 取り扱い	売上寄与	経常利益 寄与	純利益 寄与
第1次株式取得	2023年10月1日	30%	持分法適用会社	—	30% (営業外収益)	30%
第2次株式取得	2024年4月1日	51% (+21%取得)	連結子会社	100%	100%	51%※
第3次株式取得	2025年4月1日	80% (+29%取得)	連結子会社	100%	100%	80%※

※残りは非支配株主に帰属する当期(四半期)純利益



第一三共エスファ株式会社

2024年12月発売

製品名	製品	発売後の進捗
リバーロキサバン錠・OD錠 10mg・15mg「バイエル」 先発品名: イグザレルト®錠・OD錠10mg・15mg		【トップシェア】 堅調に推移 更なるシェア獲得目指す
ロキソプロフェンNa テープ 50mg・100mg「DSEP」 先発品名: ロキソニン®テープ50mg・100mg		更なるシェア獲得目指す
ヒドロキシクロロキン 硫酸塩錠200mg「DSEP」 先発品名: プラケニル®錠200mg		【トップシェア】 堅調に推移 更なるシェア獲得目指す

2026/3 第1四半期 第一三共エスファ AG売上高 構成比※

※医療機関等(病院、薬局)の売上(2025年度薬価ベース)

2024年12月

AG新製品

 リバーロキサバン
 ロキソプロフェンNaテープ
 ヒドロキシクロロキン

その他製品(AG)

26.5%

73.5%

- ・前期12月に発売したAG製品3成分7成分が業績寄与
- ・特に大型製品『リバーロキサバン』が大きく貢献

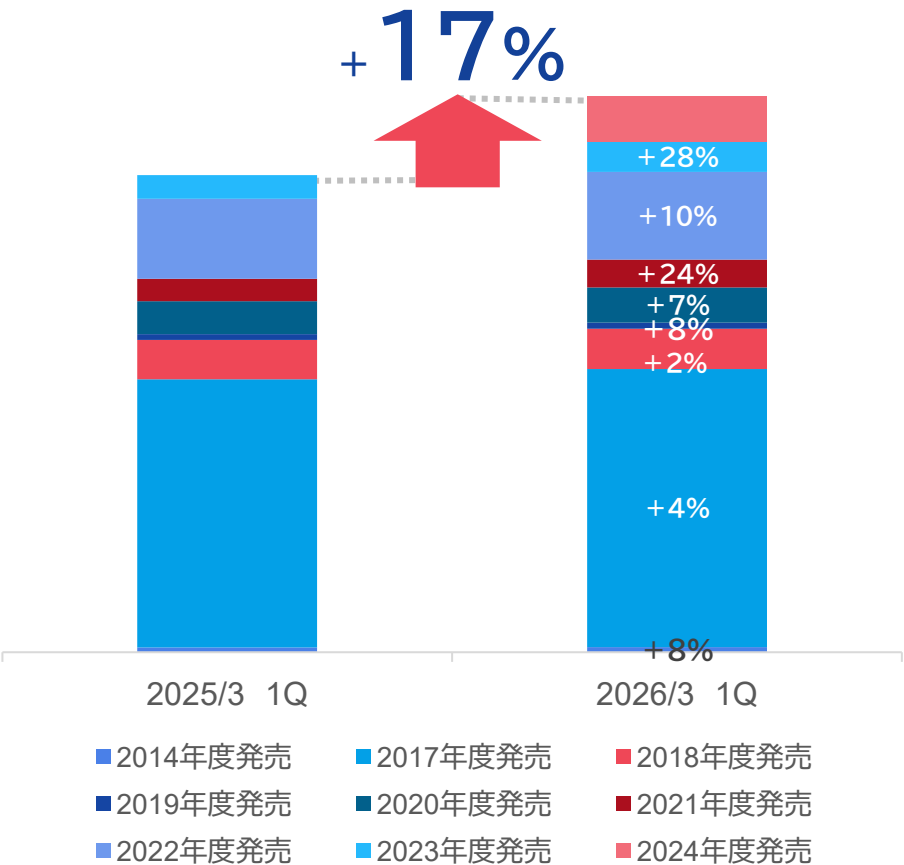


AG既存製品の出荷数量は伸長(前年同期比+17%)

AG既存製品 出荷数量※推移

※医療機関等（病院、薬局）へ出荷した医薬品数量

Copyright © 2025 IQVIA. JPM（2024年4～6月、2025年4～6月）をもとに作成 無断転載禁止



発売年度	一般名	主な使用用途
2014年度	レボフロキサシン	抗菌剤
2017年度	テルミサルタン テルミサルタン/アムロジピン テルミサルタン/ヒドロクロロチアジド オルメサルタン ロスバスタチン	降圧剤 降圧剤 降圧剤 降圧剤 高コレステロール血症治療剤
2018年度	レボフロキサシン点滴 シロドシン ゲフィチニブ	抗菌剤 排尿障害改善薬 抗がん剤
2019年度	ビカルタミド アナストロゾール タモキシフェン	抗がん剤 抗がん剤 抗がん剤
2020年度	メマンチン エゼチミブ	アルツハイマー型認知症治療剤 高コレステロール血症治療剤
2021年度	ボルテゾミブ カルベジロール ピルシカイニド	抗がん剤 慢性心不全治療剤 不整脈治療剤
2022年度	アゾセミド フェブキソスタット	利尿剤 高尿酸血症治療剤
2023年度	ビソプロロールフマル酸塩	降圧剤
2024年度	リバーロキサバン ロキソプロフェンNa テープ ヒドロキシクロロキン 硫酸塩	選択的直接作用型 第Xa因子阻害剤（経口抗凝固薬） 経皮吸収型鎮痛 抗炎症剤 免疫調整剤

【IRお問い合わせ】

クオールホールディングス株式会社 広報部

TEL:03-6430-9060

FAX:03-5405-9012

E-mail:ir@qol-net.co.jp

お問い合わせページ:<https://www.qolhd.co.jp/inquiry/>

【免責事項】

本資料および参考資料の内容につきましては、株主・投資家の皆さまへの情報提供のみを目的としたものであり、売買の勧誘を目的としたものではありません。本資料に将来に対する見通しが含まれている場合がありますが、実際の業績は様々な要素により、これら見通しと大きく異なる結果となりうることもあり、確約や保証を与えるものではありませんのでご了承ください。また、業界等に関する記述につきましても、信頼できるとされる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。投資に関する決定は、株主・投資家の皆さまのご判断において行われますようお願いいたします。



あなたの、いちばん近くにある安心